

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	建設グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	76-1111
基本事業名	5	景観の保全と整備		内線番号	5522
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 8 年度 ~ 平成 25 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	霧島市牧園町まちづくり要綱
	目	1	都市計画総務費		
コード	764117				
関連計画	高千穂地区街なみ環境整備事業整備方針、高千穂地区街なみ環境整備事業 事業計画				

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
鹿児島県の「霧島国際芸術の森」基本構想に基づく、高千穂地区の国道223号道路拡幅改良事業の着手をきっかけに、歴史的建造物の適正な管理や活用、公共施設の整備、住宅の修景整備等を行い、地域の特性を活かした魅力ある街なみ整備を行う。	事業を行うに当たり、地元説明会を開催。地元からの要望は、整備後の維持管理について地元負担の軽減を強く要望されている。	特になし。

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 牧園町高千穂地区	良好な街なみが形成される	歴史的な景観や自然景観が守られる
イ		地域にあった景観が創られる

全体計画 (H 8 ~ H 25)	平成20年度までの・実施状況	平成21年度 実績	平成22年度 計画
<ul style="list-style-type: none"> 丸尾地区ポケットパーク整備 2ヶ所 約1,100㎡ 屋外消火栓設置 4箇所 通路整備 丸尾地区 約100m 街路灯整備 166基 道路美装化 市道2路線約1,080m ごみ置き場 3箇所 足湯 2箇所 住宅等修景 30戸 	事業計画の策定 事業計画の見直し ポケットパーク整備 街路灯の設置	ポケットパーク整備 街路灯整備	ポケットパーク整備 屋外消火栓 通路整備
平成23年度 計画	平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度以降 計画
街路灯整備 道路美装化 ゴミ置き場整備 住宅等修景整備助成 足湯	街路灯整備 道路美装化 ゴミ置き場整備 住宅等修景整備助成 足湯	街路灯整備 道路美装化 ゴミ置き場整備 住宅等修景整備助成 足湯	

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 8 ~ H 25)			
	単独	補助	合計
国		215,348	215,348
県			
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他			
一般財源	294,560		294,560
計	294,560	215,348	509,908

	H 21年度 決算 (A)	H 22年度 計画 (B)	前年度比較 (B) - (A)	
当初予算額	5,050	20,645	15,595	309% 増
補正予算額	62,815		---	---
予算合計	67,865	20,645	▲ 47,220	70% 減
国庫補助金	22,535	8,640	▲ 13,895	62% 減
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	42,961	12,005	▲ 30,956	72% 減
支出合計	65,496	20,645	▲ 44,851	68% 減

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を推進することにより、良好な街なみが形成され、地域にあった景観を保全できる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域住民と観光客の安全性や、地域の景観の確保等に繋がるため、公共の関与が妥当である。
B 有効性評価	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	整備計画に基づき順調に進んでいる。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	良好な景観形成や地域の安全性確保に支障がある。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	仕様・工法等の見直しを随時行っており削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民や関係者との協議等の主要な事業は正規職員が行う必要があり嘱託職員や委託はできないため、人件費の削減はできない。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	整備区域を設定し、住環境の整備を主に行う事業であることから受益者へ負担を求めることはできないが、整備後の施設維持管理は地域にお願いしている。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	見直し後の事業計画に基づき、地元説明会を開催し地元要望を取り入れた整備を進めているところである。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	764119	事務事業名	妙見防災人道橋補修等事業	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	建設グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	76-1111
基本事業名	5	景観の保全と整備		内線番号	5522
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 23 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	特になし
	目	1	都市計画総務費		
コード	764119				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
平成9年度に妙見地区の避難路と妙見温泉街の観光拠点施設として妙見防災人道橋が建設されたが、平成18年度に9年を経過し橋が木製のため腐朽菌の増殖やシロアリの被害が出始め、災害時の避難路の確保のため補修を必要としたことから、一部床板等の取替補修工事を行った。平成19年度は、周辺環境調査を実施した。今後は、橋の改修方法や環境対策についての検討を行い、併せて、緊急時の左岸側避難道路(取付道路)の整備を進める。	地域住民からは早急な橋補修と左岸側避難道路(取付道路)の要望がある。	平成20年12月議会で、「橋の建設後10年が経過し、腐食が進んでいるが、危険は無いか」との質問があった。

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 地域住民及び観光客	安心で快適に利用してもらう	歴史的な景観や自然景観が守られる
イ		地域にあった景観が創られる

全体計画 (H18 ~ H23)	平成20年度までの実施状況	平成21年度実績	平成22年度計画
人道橋維持補修一式	<ul style="list-style-type: none"> 護岸部床板貼り替え 26枚 シロアリ駆除 一式 河川湯源調査業務委託 一式 河川湯源河床部撮影業務委託 一式 両護岸床板貼り替え工事 157枚 	<ul style="list-style-type: none"> 人道橋分筆測量設計 一式 河川湯源復旧工事実施設計 一式 河川湯源復旧工事 一式 (H22～繰越予算額)7,000千円 (上記の内契約済額)4,950千円 人道橋改修設計委託 一式 (H22～繰越予算額)5,181千円 (上記の内契約済額)4,725千円 	<ul style="list-style-type: none"> 犬飼滝線地質調査試験費 犬飼滝線用地取得 6筆 犬飼滝線用地補償 立木補償一式 人道橋床板補修
平成23年度計画	平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度以降計画
<ul style="list-style-type: none"> 人道橋改修 一式 <p>※事業費については、県の地域振興推進事業の認可状況によりH22.8月頃決定。</p>			

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H18 ~ H23)			
	単独	補助	合計
国			
県			
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他			
一般財源	34,987		34,987
計	34,987		34,987

	H21年度決算(A)	H22年度計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	24,200	7,300	▲ 16,900	70% 減
補正予算額	-10,189		---	---
予算合計	14,011	7,300	▲ 6,711	48% 減
国庫補助金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	11,505	7,300	▲ 4,205	37% 減
支出合計	11,505	7,300	▲ 4,205	37% 減

事務事業コード	764119	事務事業名	妙見防災人道橋補修等事業	担当部	牧園総合支所
				担当課	建設課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	橋梁を維持補修等することで、地域住民や宿泊客等に安心して快適に利用してもらい、地域にあった景観を保全できる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本橋梁は、景観に配慮した橋であるほか、災害時の緊急避難経路の橋でもある。このような理由から市が関与することは妥当である。
B 有効性評価	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	河川湯源の復旧等計画通り進行している。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	廃止・休止した場合、橋梁を維持保全出来なくなり、劣化・落橋が予想され、地域住民や観光客に多大な影響がある。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	既存の工作物を可能な限り利用する計画であり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業実施にあたり、地域住民や関係者との協議等が必要であり、正規職員が行う必要がある。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本橋梁は、景観に配慮した地域住民の生活路であり、災害時の緊急避難経路の役割も兼ねていることから、公共性が高く受益者に負担を強いることは不適切である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	人道橋は架橋から12年が経過し、橋の劣化が著しく歩行者の安全確保が急務となっていることから早急な改修を必要としている。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	764212	事務事業名	(仮称)まきのはら総合運動公園整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市整備課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	7	公園・広場等の整備		内線番号	2891、2892
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市計画法、道路法、都市公園法
	目	3	街路事業費		
コード	764212				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
平成15年、牧之原総合運動公園整備の要望が強く、開始するきっかけとなり、まちづくり交付金事業による整備の計画が開始された。 福山総合支所管内のまきのはら地区(牧之原高原地域と福山地区海沿い地域を結ぶ一連の区域)を有機的に憩える一体化した区域にするため、地域の特性を生かしつつ必要な施設の整備を図る。	福山地区住民より、観光客等の交流人口を増やせる施設の整備についての要望がある。	特になし。

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	すべての世代の健康増進が推進される	ゆとりややすらぐ場が確保される
イ	市内外者との交流の場が広がる	

全体計画 (H 18 ~ H 22)	平成20年度までの実施状況	平成21年度実績	平成22年度計画
○福山プール(25m×6コース) ○牧之原総合運動公園 ・園内道路整備工事 ・西側多目的広場 ・更衣室整備 ・緑地広場整備工事 ・トイレ整備 ・駐車場舗装工事 ・東側多目的広場整備工事 ○市道舗装補修	○福山プール(25m×6コース) ○牧之原総合運動公園 ・園内道路整備工事 延長140m 幅員7.0m ・西側多目的広場 造成工事、防球ネットほか ・更衣室整備 1棟 ・緑地広場整備工事 路盤工 ○市道舗装補修 延長100m 幅員4.6m	○牧之原総合運動公園 ・西側多目的広場整備工事 芝舗装路盤工 2.7ha 芝舗工 2.7ha ・トイレ整備 1棟 「H22～繰越」繰越額84,138千円 ○牧之原総合運動公園 ・駐車場舗装工事 3,200㎡ ・緑地広場整備工事 芝張工、東屋	○市道舗装補修 延長700m 幅員4.5m ○牧之原総合運動公園 ・東側多目的広場整備工事 整備面積 1.1ha ・園内道路整備工事 延長220m 幅員7.0m
平成23年度計画	平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度以降計画

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 18 ~ H 22)			
	単独	補助	合計
国		226,500	226,500
県			
地方債		315,000	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		315,000	315,000
その他			
一般財源	23,327	24,800	48,127
計	23,327	566,300	589,627

	H 21年度 決算 (A)	H 22年度 計画 (B)	前年度比較 (B) - (A)	
当初予算額	131,320	64,046	▲ 67,274	51% 減
補正予算額	23,512		---	---
予算合計	154,832	64,046	▲ 90,786	59% 減
国庫補助金	75,000	6,700	▲ 68,300	91% 減
県支出金				
地方債	71,800	38,700	▲ 33,100	46% 減
その他				
一般財源	7,593	18,646	11,053	146% 増
支出合計	154,393	64,046	▲ 90,347	59% 減

事務事業コード	764212	事務事業名	(仮称)まきのほら総合運動公園整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市整備課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	運動公園を整備することにより施設利用者の健康増進が推進されるとともに、各種大会等の開催により市内外者との交流が広がりゆとりや安らぐ場が確保される。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	運動公園は市民の憩いの場・交流の場として計画されたものであり、多額の投資を要し受益する市民の範囲も不特定多数に及ぶため、市が整備することは妥当である。
B 有効性評価	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	主要施設の整備が概ね平成21年度に完了することから順調に進捗している。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	主要施設の整備が概ね平成21年度に完了していること、また、この事業と併せて、道路の舗装整備も進めていることから、多額の費用が無駄になる。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業開始当初から、公園整備で発生する土砂を、他工区に流用し有効利用することにより、コスト削減を図っている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業執行において、効率的な事務分担を行うとともに民間業者への業務委託を図っていく。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	全市民が利用できる運動公園の整備であるため公平である。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	全市民が利用できる運動公園の整備については、目的妥当性・公平性ともに適切であり、有効性・効率性についても、順調な進捗や経費削減が図られた。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市整備課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	都市整備グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2881
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市計画法 道路法 土地収用法 都市再生特別措置法
	目	3	街路事業費		
コード	764210				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
<p>市で作成した都市再生整備計画に基づき、中心市街地にある平和通線、向花清水線及び川跡線は、骨格道路として整備事業を開始している。</p> <p>都市計画道路等の早期整備により、安全な道路施設整備、中心市街地の活性化や歩行者の回遊性の向上を図るもので、歩道の設置、道路の拡幅、道路の舗装を行うものである。</p> <p>①補償物件の調査、②用地取得、③工事の施工</p>	<p>都市計画決定より長期の年数が経過しているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。</p> <p>特に道路が狭く、歩行者の通行や車の離合がしにくいことや都市計画法第53条の規定により建築制限が行われていることもあり地権者からは早期の着手が要望されている。</p>	<p>特になし。</p>

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 道路利用者(車両及び歩行者)	安全かつスムーズに通行できる。	安全・快適に移動ができる
イ 事業用地の地権者、建物等所有者及び借家人など利害関係人	地権者、利害関係人の理解協力を得ながら事業用地として必要な土地を提供してもらう。	安全・快適に移動ができる

全体計画 (H 19 ~ H 23)	平成20年度までの実施状況	平成21年度実績	平成22年度計画
道路改良工事 690m	測量等業務委託 4件 道路改良工事 0m(前払い金) 用地買収 7件 371㎡ 建物等補償 5件 ※ただし、道路改良工事 201m(工事費48,193千円)、用地買収 5件(土地代29,531千円)、建物等補償11件(補償費54,001千円)についてはH21に繰越	測量等業務委託 3件 道路改良工事 440m 用地買収 8件 1,283㎡ 建物等補償 14件 ※ただし、建物等補償 2件(補償費28,547千円)についてはH22に繰越	道路改良工事 236m 用地買収 12件 599㎡ 建物等補償 11件
平成23年度計画	平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度以降計画
道路改良工事 139m ※事業費については未定。			

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 19 ~ H 23)			
	単独	補助	合計
国		233,360	233,360
県			
地方債		368,220	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		368,220	368,220
その他			
一般財源	69,298	19,683	88,981
計	69,298	621,263	690,561

	H 21年度 決算 (A)	H 22年度 計画 (B)	前年度比較 (B) - (A)	
当初予算額	167,605	228,193	60,588	36% 増
補正予算額			---	---
予算合計	167,605	228,193	60,588	36% 増
国庫補助金	160,765	26,600	▲ 134,165	83% 減
県支出金				
地方債	141,630	161,200	19,570	14% 増
その他				
一般財源	21,352	40,393	19,041	89% 増
支出合計	323,747	228,193	▲ 95,554	30% 減

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市整備課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路改良工事により道路利用者が、安全・快適に移動ができるようになるため結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道整備は、市の義務であり、通行車両、歩行者の安全を確保する観点からも妥当である。
B 有効性評価	目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	土地買収、工事とも順調である。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を休止・廃止すると、安全・快適な通行ができない部分が残る。
C 効率性評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事費を積算している。買収単価は土地鑑定を行って適切な価格での買収をお願いしている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事発注をしている。用地交渉は地権者に平日時間内にお願ひし、地権者の都合により必要最小限で時間外交渉を行っている。
D 公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人が、道路を利用するので公平公正である。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地買収、工事とも順調に事業を進められている。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	